

「生物探究」 シラバス

学科	普通科	学年	3年	類型	Ⅱ	組	1・2組	単位数	2
使用教科書	探究 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会)								
副教材等	セミナー生物基礎 (第一学習社)								

1 学習の到達目標

- ① 生物基礎の知識をもとに愛媛の自然について探求し、理解を深める。
- ② 探究活動を通して自然現象について科学的に追求し、科学的な理論や法則を見出すことで科学的素養を高める。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	(2)(4)(5)(6)(7)
思考・判断・表現	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身に付けているか。	(2)(4)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)グループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答 (3)実験・観察に取り組む態度	
課題などの提出状況	(4)長期休業中の課題 (5)定期考査中の課題	
ペーパーテスト	(6)定期考査	
パフォーマンステスト	(7)実験手順・器具の使用方法の確認	

3 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	評価項目
一 学 期	第1章 愛媛の自然 第1節 地形と地質	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛の地形や地質、地下資源についての基礎知識を身に付ける。 ・愛媛の気候を理解し、その気候に適した生物の形態的な特徴や生理的な特徴について考察する。 ・愛媛の身近な植物種および外来生物について理解する。 ・動物を分類ごとに調べ、その特徴や生態系における地位について理解する。 	(1)
	第2節 気候		
	第3節 植物		
	第4節 動物		
	第2章 身の回りの科学 第1節 愛媛の産業と科学	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛に根付いている産業について調べ学習を行い、地域産業の発展について考察する。 ・愛媛を代表する科学者について調べ、その業績が現代の科学の発展にどのように貢献したのかを考える。 	(1)
二 学 期	第3章 環境問題の学習 第1節 大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、問題視されている環境問題についてグループワークにより探究し、持続可能な社会を構築していくために自分たちがどのように生活しなければならないかを考察する。 ・生物多様性について既習事項を踏まえながら学習し、理解を深める。 	(1)
	第2節 水質汚染		
	第3節 土壌汚染		
	第4節 生物多様性の破壊とその保全		
	第5節 環境問題を学習して		
	第4章 観察・実験と研究 第1節 研究の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの見つけ方、研究の進め方、研究のまとめ方について理解する。 	(3)(7)
	第2節 実験器具の使い方と野外観察の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の使い方や植物標本の作製方法等について理解する。 	
第3節 研究作品	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県の高等学校で研究された作品を閲覧し、今後の探究活動についての展望を持つ。 		
三 学 期	探究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でテーマを決めて探究活動を実施することで、自然現象に対する理解を深める。 	(3)(7)

備考 (2)(4)(5)(6)については、全ての単元において評価項目として用いる。